

COP28 ジャパンパビリオンにおいて、ブルーカーボンの取組みを紹介

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、12月11日（月、現地時間）にアラブ首長国連邦で開催されたCOP28のジャパンパビリオンの中で行われたセミナーおよびパネルディスカッションにおいて、日本製鉄の鉄鋼スラグを活用した藻場の再生「海の森づくり」についての取組みを紹介しました。本セミナーは、日本国環境省とオーストラリア連邦 気候変動・エネルギー・環境・水資源省との共催で「国際連携によるブルーカーボンの推進」をテーマに開催されたものです。日本製鉄の20年以上にわたって実施してきた「海の森づくり」の活動が、海藻が吸収するCO₂としても知られるブルーカーボンにも資する取組みとして広く世界からも注目いただきました。



ジャパンパビリオンで登壇する日本製鉄 技術開発本部
先端技術研究所 課長 小杉知佳

【セミナー概要】

1. 開会挨拶（日豪両国）
2. ブルーカーボンの取組紹介
 - ・ 小杉知佳 日本製鉄 技術開発本部 先端技術研究所 課長
 - ・ Chenae Neilson オーストラリア連邦気候変動・エネルギー・環境・水資源省 Manager
3. パネルディスカッション
 - ・ 伊藤史雄 環境省 地球環境局 総務課 脱炭素社会移行推進室長
 - ・ Chenae Neilson オーストラリア連邦気候変動・エネルギー・環境・水資源省 Manager
 - ・ 青山紘悦 国土交通省 港湾局海洋・環境課 港湾環境政策室長
 - ・ Joao Sousa 国際自然保護連合(IUCN) Ocean Team Centre for Conservation

以上

お問い合わせ先 : 総務部広報センター 電話 03-6867-2135、2146、2977、3419